

2 アガパンサス *Agapanthus africanus* (ネギ科)

主として花壇の植栽に用いられる耐寒性の宿根草(茎が肥大するので球根植物に分類されることもある)であるが、切り花としては、在来種の他、花色の濃い‘テンツ’が利用される。収穫後のSTS処理が必須で、STSの処理が不十分であると、蕾が開花前に激しく落下する。

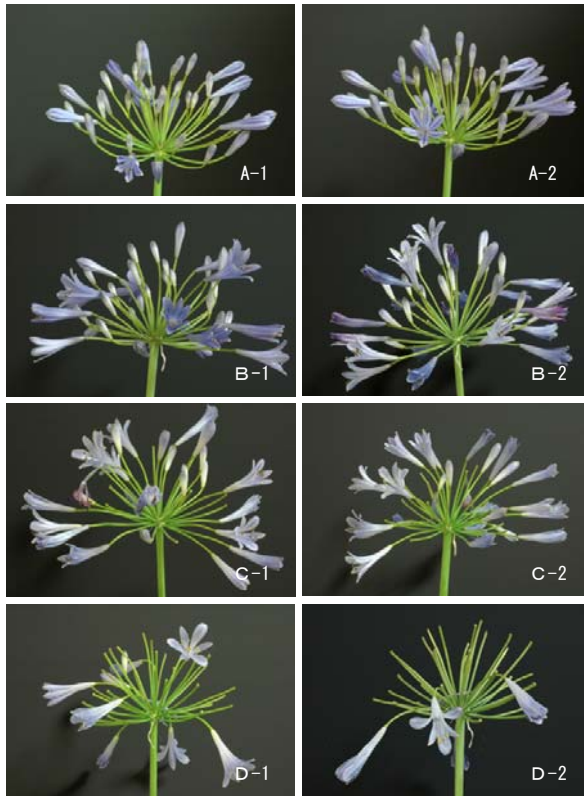
1) 品質評価基準

項 目	判 定 基 準	備 考
開花・老化・落弁	花序中の、A:数花～1/4の小花が開花する、B:1/4～半数の小花が開花し、数花の花被が萎れる、C:数花～1/2の小花の花被が萎縮・乾燥して落弁する、D:1/2以上の小花の花被が落弁する。	小花の花被が伸長しても展開しない場合があるが(写真参照)、開花と判定する。
落蕾	A:落蕾なし、小花が開花せずに、B:数花蕾が落下する、C:1/4の花蕾が落下する、D:1/4以上の花蕾が落下する。	STSの処理量が不足すると発生がみられる
花被の退色	A:退色なし、B:やや薄くなる、C:激しく退色する、D:ほとんど白色になる	花被が萎れると花色が濃くかつ赤みを帯びる。
花茎の黄変	A:黄変なし、B:小花柄がやや黄変する、C:花茎全体が黄変する、D:花茎が激しく黄変し、小花柄が褐変する。	
その他	茎の腐り、STSによる薬害など。	

2) 留意点

花茎を軽く振ってから品質のチェックを行う。

3) 開花



4) チェック事項



5) 品質チェックシート

品目 アガパンサス
品種

産地

市場
担当者
評価開始日

個 体	項 目	経 過 日 数										日持ち 日数	メ モ	
		0	2	4	6	8								
1	開花・老化・落弁													
	落蕾													
	花被の退色													
	花茎の黄変													
2	その他													
	開花・老化・落弁													
	落蕾													
	花被の退色													
3	花茎の黄変													
	その他													
	開花・老化・落弁													
	落蕾													
4	花被の退色													
	花茎の黄変													
	その他													
	開花・老化・落弁													
5	落蕾													
	花被の退色													
	花茎の黄変													
	その他													
6	開花・老化・落弁													
	落蕾													
	花被の退色													
	花茎の黄変													
7	その他													
	開花・老化・落弁													
	落蕾													
	花被の退色													
8	花茎の黄変													
	その他													
	開花・老化・落弁													
	落蕾													
9	花被の退色													
	花茎の黄変													
	その他													
	開花・老化・落弁													
10	落蕾													
	花被の退色													
	花茎の黄変													
	その他													

評価条件等に関するメモ